

【平成29年度 第1回 外国籍市民施策懇話会議事要旨】

日時 平成29年6月23日（金）18：30～20：15
場所 市役所 東館1階 会議室6
出席者 委員…阿曾、石田、嶋原、高橋、田中、長山、野間、森
関係職員…学校支援室 桑原室長補佐
事務局…吉井部長、樋口課長、馬場係長、牧野
傍聴者 なし

1. あいさつ

市民生活部長より挨拶

2. 委嘱状交付

- ・代表として「森 顕子」委員に市民生活部長より交付
- ・その他の委員については、席に配布にて省略
- ・交付後、懇話会委員、事務局の自己紹介

3. 会長及び副会長の選出

- ・会長は豊明市外国籍市民施策懇話会運営規則第5条第2項の規定より委員の互選。野間委員より高橋委員が推薦され、他委員より異議なく高橋委員を会長とする。
- ・副会長は同条第4項の規定により会長が指名、阿曾委員を副会長とする。（以後、会長が議事を進める）

4. 豊明市の外国人市民の動向について

(事務局)

- ・データを基に、外国人人口（全体、国籍別、行政区別）の推移及び市の特徴について説明。

5. 現豊明市多文化共生推進計画の取り組みについて

(事務局)

- ・各課への調査を基に、現計画全体に対する取り組み状況を説明。（未実施のものを中心に）
- ・昨年度の事業実績について説明。

(委員からの意見)

- ・小中学校への日本語指導員の派遣は、今年度より双峰小学校でプレクラス事業を実施することになった。
 - ・平日昼間の日本語教室開設について、そのような要望があるのか。日本語教室に来ていない外国人の声が聞けないので心配である。
- 具体的にそのような話は聞いていないが、日本語教室を増やしていこうという意図があり、

現計画に盛り込まれている。現在市の国際交流協会やNPO法人プラス・エデュケートによる日本語教室は比較的充実していると感じる。

- ・企業等との連絡調整について、就労している外国人に対する日本語指導は企業がやっているのか。どこの企業にどのくらい外国人が就労しているか把握しているか。

→現在企業との接点は、外国語版広報の配布ぐらいに留まっている。次計画策定に向けて、実態をつかみたいと考えている。

6. 次期豊明市多文化共生推進計画の策定について

【今年度のスケジュール】

(事務局)

- ・第2次計画は、第1次計画を継承するものとする。
- ・資料3（修正）のとおり策定のスケジュールを説明。庁舎内の計画策定委員会を8・10・1月に、懇話会を9・1月に実施する予定。

【施策体系】

(事務局)

- ・現在の施策体系（案）について説明。「基本理念」、「基本目標」、「基本施策」、「施策の方向性」について、文言や内容を検討する。
- ・計画期間（5年、10年…）について、懇話会での意見をいただきたい。

(委員からの意見)

- ・基本理念は、仮のタイトルがはっきりしてよいと思う。
- ・総合計画から言葉をもってきて、「みんなでつなぐ多文化共生社会の実現について」としてはどうか。
- ・「多文化共生」という言葉が、外国人に関わっていない人にはわかりにくいのではないか。
- ・基本理念に「多文化共生」と入っていると、基本目標の括弧内と重なる。
- ・「実現に向けて」という言葉は、現在何もやっていないように聞こえる。さらにより良いものへというニュアンスの言葉がよい。
- ・「みんな（外国人も入っている）でつくる、助け合う」などを入れてはどうか。
- ・総合計画のように、ひらがなで表記したタイトルはわかりやすい。
- ・施策の方向性の「労働支援」というのは、就労支援など市が積極的に行うようなイメージをもつが、そのように考えてよいか。

→市が直接的にというよりは、企業と関連している担当課とどのようなことができるか検討したり、相談窓口へ繋いだりするような形となる。

- ・相談業務に組み込んでどうか。現計画のように「企業との連携」としてもよいのでは。
- ・労働関係は、「くらし」ではなく「ちいき」の分類ではないか。
- ・防災・防犯は、「くらし」ではなく「ちいき」の分類ではないか。
- ・労働関係は、子どもたちの教育にも関わる生活支援の部分であり、「くらし」の分類でよいと思う。
- ・「国際交流の推進」の下にくる事業の一つの友好都市市民派遣事業について、継続実施していく必要がある事業かどうか、もう一度検討する必要がある。

- ・「支援」ではなく、同じ市民として一緒にやっていくという意識をもつ。
- ・他自治体では防災に対する取り組みが進んでいると聞くと、豊明市ではどうか。

→次回報告する。

- ・施策の方向性について、「くらし」「ちいき」に比べ、「こども」の文言がより具体的なものとなっている。統一した方がよい。
- ・計画期間が5年だと短いと思う。10年とし、修正が必要なタイミングで行ってはどうか。
- ・現計画と同様に10年がよいと思う。
- ・5年で外国人人口や取り巻く環境に変化がある。2020年のオリンピックで何らかの影響を受ける可能性も考え、5年の方がよいのでは。
- ・外国人人口の増減があるとしても、理念や年数はそれにより変えなくてもよい。総合計画に合わせて10年計画とし、途中で見直せばよいのでは。

【アンケート】

(事務局)

- ・外国語版広報を設置している施設、配布している企業には、アンケートの配布を依頼する予定。
- ・懇話会委員の皆様にもご協力いただきたい。

(委員からの意見)

- ・「重要」「必ず書いて」などの言葉を入れた方がよい。
- ・多言語はもちろんだが、ふりがながあるとよい。
- ・子ども版について、配布場所により回答が限定される質問項目は見直す。(日本語教室、日本語の読み書き等)

□ 次回開催日 平成29年9月22日(火) 18:30～